

OPTION PARTS

必ず内容をご熟読ください。



取扱・取付説明書

オプションパーツ
車内置き去り防止安全装置
断線検知センサー:502F

■製造発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

※本書に記載されている内容は2023年7月1日現在のものです。

GYZ-23056-2-4

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

お取り扱い上の注意

この度は断線検知センサー502Fをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取付・取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。本書を紛失しないように、大切に保管してください。本書に記載した注意事項は、製品を安全かつ正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。

注意事項は、次のような記号に分類して表示しています。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、製品を扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることで部品の寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明しています。



強制

強制・制約・指示等を表す記号

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

お取り扱い上の注意

安全上の注意



危険

- 本製品は、国産D.C.12V車両専用です。D.C.24Vの車両に取り付けする場合は、オプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DC(別売)をお買い求めください。製品仕様以外の電源電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。



警告

- 電源の投入は取り付け完了の最後に行ってください。電源が接続されたまま配線接続を行った場合には内部回路が故障して正常に作動しなくなる場合があります。
- エアバック(SRS)装着車、その他特殊な装置を装備している場合は、バッテリーの配線を抜くなどして電源供給を止めないように留意してください。誤作動する可能性があります。
- 本製品は、耐熱構造ではありませんので熱源付近への設置はしないでください。



注意

- 本製品を故意に分解、加工、改造変更は絶対にしないでください。
- 本製品の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は低消費電力設計ですが、車両の使用・整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご利用されない場合などは特に注意してください。
- 取り付けには、車両電装知識が必要です。最寄りの取付店にお問い合わせください。
- 各種部品をパネルなどに取り付ける場合は、必ずお客様に了承を得てから行ってください。
- 各部品の取り付けの際には必ずエンジンを停止してから行ってください。
- 取り付けの際には、換気のため、車両の窓を開けて行うことをお勧めします。
- 車両のバッテリーが弱っている場合など、車両本来の機能に不備がある場合には、製品が正常に作動しないことがあります。常に車両の整備が行き届いた状態で取り付けを行ってください。

使用上の注意



禁止

- 本製品のメインユニットや付属のハーネスを傷つけたり、破損・加工・無理に引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因になります。
- 濡れた手で本製品、付属品を触らないでください。感電する恐れがありますので注意してください。



ヒント

- 配線の接続は、ハンダ付け等接触不良が無い接続方法で行ってください。接触不良が発生すると正しい動作ができなくなります。

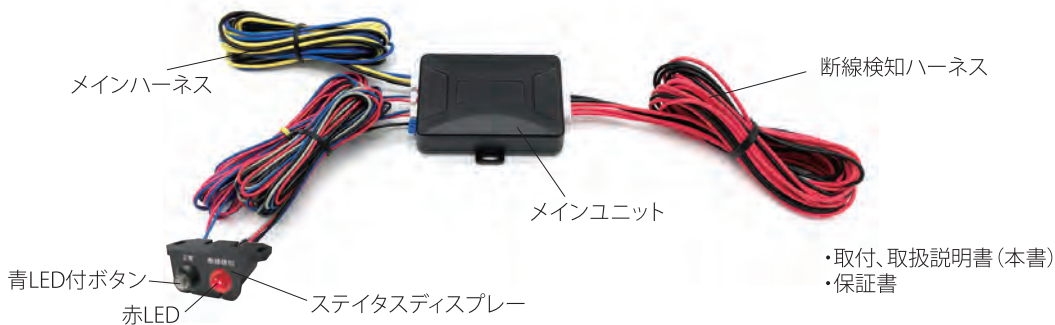


必ずお読みください。

- 断線検知センサーは、ホーネット車内置き去り防止安全装置の車内ブザー、車外アラーム、車内センサーの断線やメインユニット(制御装置)の電源喪失を検知することができますが、動作を完全に保証するものではありません。
- 安全装置の動作確認は、管理者責任のもとで定期的を実施し、本製品の機能に依存しないように注意してください。
- 万一、車内置き去りが発生しても当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

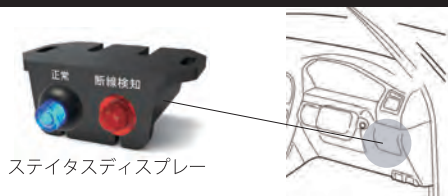
各部名称および同梱物

断線検知センサー502F



断線検知センサーの特長

断線検知センサー502Fは、ホーネット車内置き去り防止安全装置のオプションパーツです。断線検知機能を追加することができます。エンジン始動時にステイタスディスプレイにより車内置き去り防止安全装置が正常に動作していることを確認できます。



ステイタスディスプレイの確認方法

エンジンを始動すると、ステイタスディスプレイの青色LED、赤色LEDのいずれかが点灯します。次の手順で車内置き去り防止安全装置が正常に動作していることを確認してください。

1 エンジンを始動して、ステイタスディスプレイの状態を確認します。

正常時

正常側の青色LEDが点灯します。

断線検知時

断線検知側の赤色LEDが点灯します。



ステイタスディスプレイ



ステイタスディスプレイ



青色LEDのボタン

2 確認できたら、青色LEDのボタンを1回（1秒ほど）押します。

3 LEDが消灯します。



ヒント
イグニッションON電源の変動が大きい車種の場合、ボタンを押しても青色LEDが消えない場合があります。LEDが消えなくてもガイドラインに適合していますのでご安心ください。

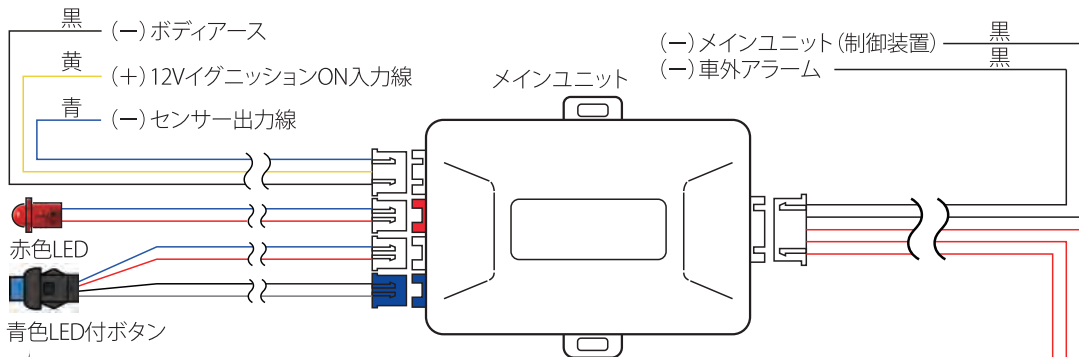
4 赤色LEDが点灯した場合は、安全装置の配線（車内ブザー・車外アラーム・車内センサー）の断線およびメインユニット（制御装置）の電源喪失を検知し警告しています。直ちに製品をご購入の販売店・取付店にお問い合わせしてください。



警告

- 安全装置が異常（断線検知）のまま、本製品を使用しないでください。誤作動の原因になります。
- 必ずメンテナンス作業を依頼し正常であることを確認してからご利用してください。

断線検知センサーの信号系統図



注意

- 赤色LED、青色LED付ボタンの接続先を間違えないように注意してください。

- (+)メインユニット(制御装置) 赤
- (+)車内ブザー 赤
- (+)車内センサー 赤

【配線の長さ】

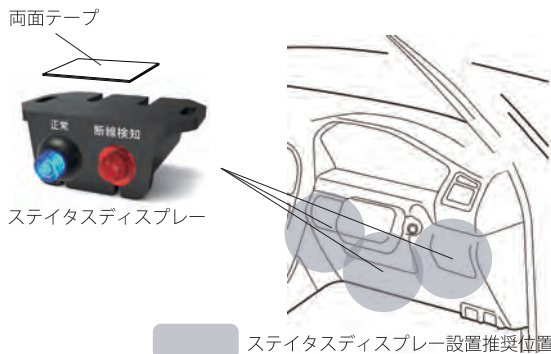
- 断線検知ハーネス:1,500mm
- メインハーネス:1,500mm
- 赤色LEDハーネス:1,500mm
- 青色LED付ボタンハーネス:1,500mm

注意

- 本製品は、D.C.12V専用です。D.C.24V車両に接続する場合は、オプションのDCDCコンバーターBS-24DC(別売)をお買い求めください。
- 電圧変動のある制御線には接続しないでください。

ステータスディスプレイの設置

エンジン始動時に運転者が確認できるエリアに付属の両面テープを使用してステータスディスプレイを設置してください。



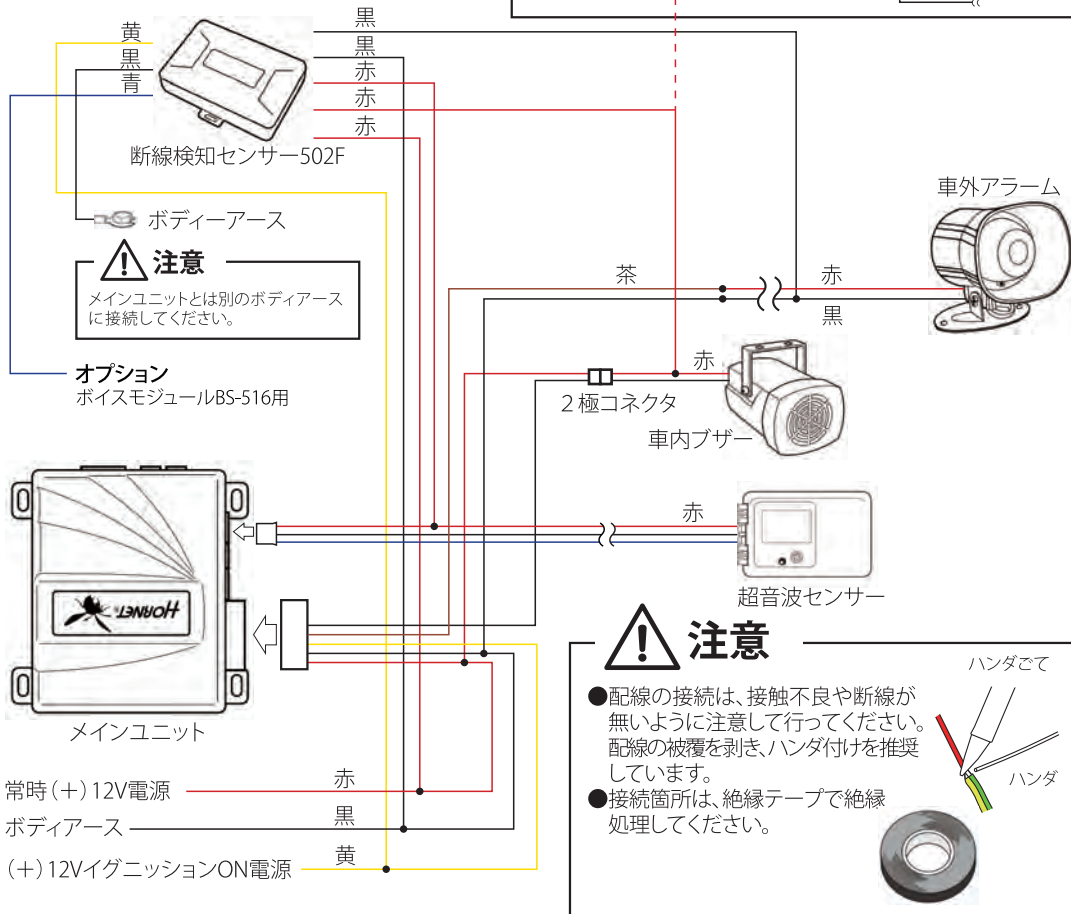
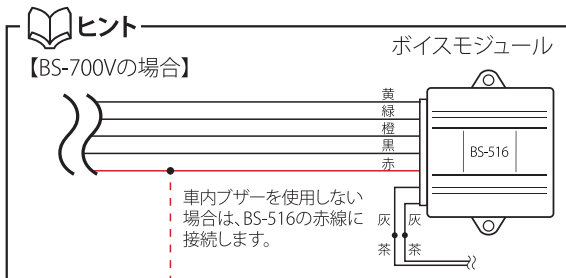
注意

- ステータスディスプレイは、運転者などがエンジン始動時に確認しやすいエリアに設置してください。

接続全体図 (BS-700S、BS-700M、BS-700C、BS-700V)

断線検知センサー502Fを図のようにホーネット車内置き去り防止安全装置の車内ブザー、車外アラーム、車内センサー、メインユニット(制御装置)の信号線に割り込ませて接続します。

- ・メインユニット
 - ・車内ブザー
 - ・車外アラーム
 - ・超音波センサー
 - ・車内音声(ボイスモジュール)
- の機器に近い位置の(+)^{12V}電源、(-)電源線に接続してください。



※その他の配線は省略しています。メインユニットの配線接続に関しては、付属の説明書をご参照ください。

ヒント

車両の電源がすべてD.C.24Vであり、(+)^{12V}の常時電源およびエンジン作動中のイグニッションON(+)^{12V}電源が得られない場合は、オプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DC(別売)を使用して接続してください。

接続全体図 (BS-350K、BS-350KM、BS-350KV、BS-350J)

断線検知センサー502Fを図のようにホーネット車内置き去り防止安全装置の車内ブザー、車外アラーム、車内センサー、メインユニット(制御装置)の信号線に割り込ませて接続します。

- ・メインユニット
 - ・車内ブザー
 - ・車外アラーム
 - ・超音波センサー
 - ・車内音声(ボイスモジュール)
- の機器に近い位置の(+)^{12V}電源、
(-)電源線に接続してください。

ヒント

【BS-350KMの場合】

BS-350KMは、MC-8の赤線に接続します。

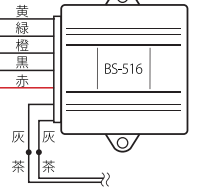
【BS-350Kの場合】

BS-350Kは、車内ブザーの赤線と共に接続します。

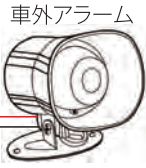
【BS-350KVの場合】

BS-350KVは、BS-516の赤線に接続します。

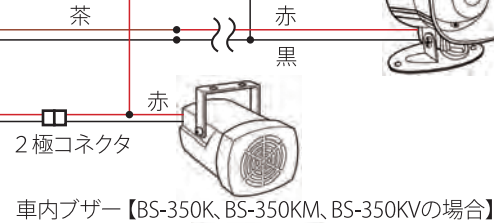
ボイスモジュール



注意
断線検知ハーネスの赤線の接続先が無く余る場合、隣の赤線に接続してください。

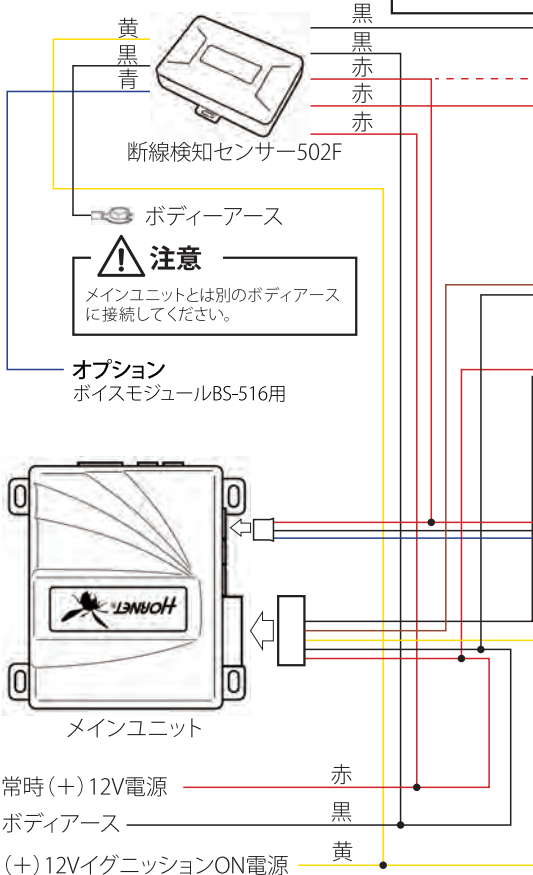


車外アラーム



注意

- 配線の接続は、接触不良や断線が無いように注意して行ってください。配線の被覆を剥き、ハンダ付けを推奨しています。
- 接続箇所は、絶縁テープで絶縁処理してください。



注意
メインユニットとは別のボディアースに接続してください。

※その他の配線は省略しています。メインユニットの配線接続に関しては、付属の説明書をご参照ください。

ヒント

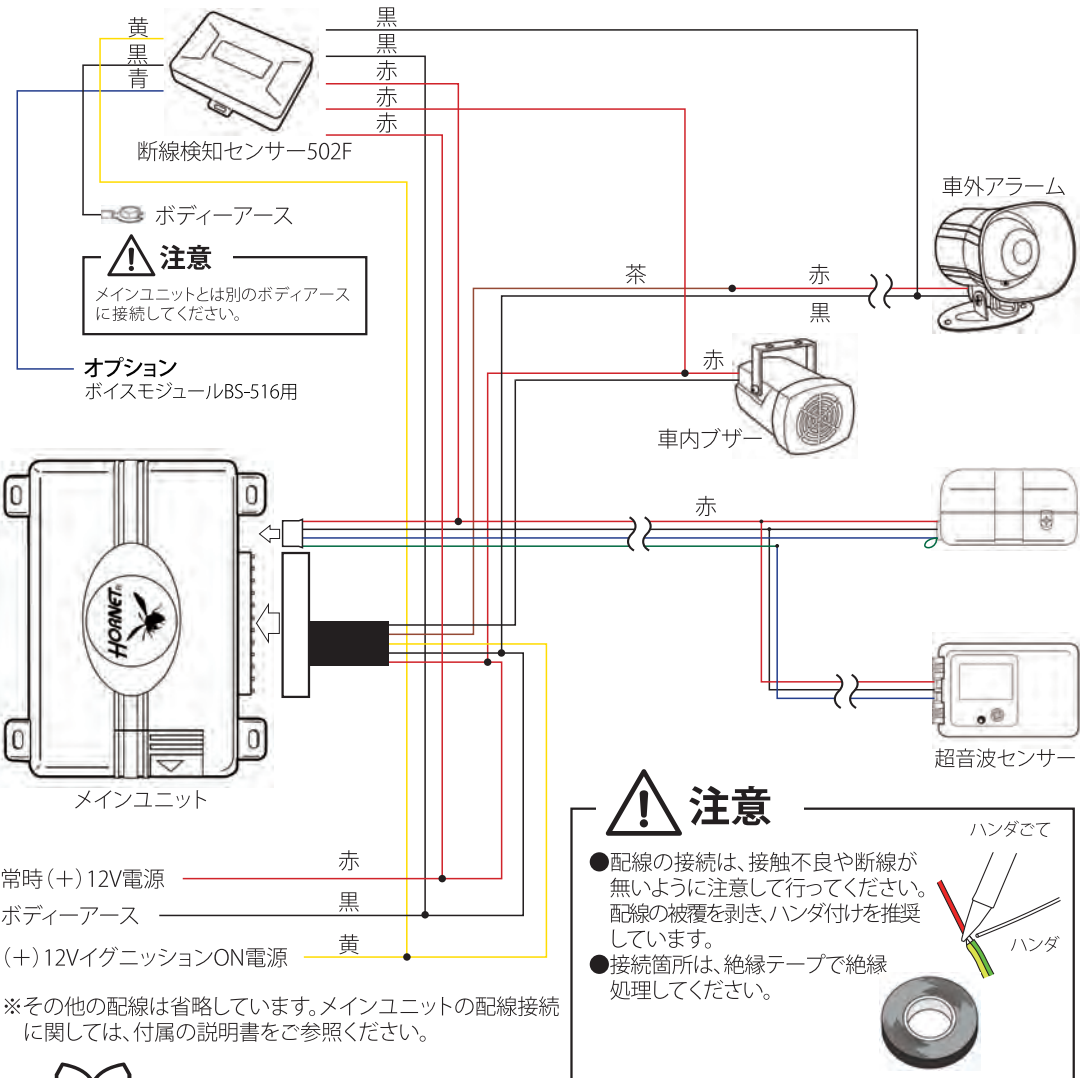
車両の電源がすべてD.C.24Vであり、(+)^{12V}の常時電源およびエンジン作動中のイグニッションON(+)^{12V}電源が得られない場合は、オプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DC(別売)を使用して接続してください。

接続全体図 (BS-300S+、BS-500G+)

断線検知センサー502Fを図のようにホーネット車内置き去り防止安全装置の車内ブザー、車外アラーム、車内センサー、メインユニット(制御装置)の信号線に割り込ませて接続します。

- ・メインユニット
- ・車内ブザー
- ・車外アラーム
- ・車内センサー

の機器に近い位置の(+)12V電源、(-)電源線に接続してください。



ヒント

車両の電源がすべてD.C.24Vであり、(+12V)の常時電源およびエンジン作動中のイグニッションON(+12V)電源が得られない場合は、オプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DC(別売)を使用して接続してください。